

第25回(1981年度)日本学生科学賞中央審査出品中の水草関係の作品について

中西克爾

(東京都桐朋高校、中央審査委員)

会報No.3(1981年)に引き続いて、今年度の日本学生科学賞中央審査に出品された水草関係の作品を紹介したい。

まず、第25回の地方と中央審査の部門別参加作品点数を表1,2に示す。

中央審査参加作品のうち、水草関係のものは、中学校の部では4点、高校の部では2点であり、それぞれ生物部門中で占める割合は5.6%、4.3%であった。

表3に、作品テーマや学校・研究者・内容の概略を示す。

なお、高校の部の「ウキクサの研究」は文部大臣奨励賞を、「栗駒山の湿原植生」は2等賞を、中学の部の「光による水草の成長(Ⅲ)」は科学技術庁長官賞をそれぞれ受賞したことを付記いたします。

表1. 地方審査参加作品点数

	物理	化学	生物	地学	計
中学校	468	416	1424	316	2624
高校	47	85	176	81	389

表2. 中央審査参加作品点数

	物理	化学	生物	地学	計
中学校	23(24)	18(24)	72(67)	20(23)	133(138)
高校	13(14)	15(23)	47(41)	19(20)	94(98)

()は第24回(1980年度)の点数

表3. 水草関係の研究

	作品テーマ	学校	研究者	内容
中 学 の 部	イチョウウキゴケの研究	長崎県杵岐郡 勝本中学	2・3年 藤田 孝亀 ほか2名	イチョウウキゴケの断面構造や生育条件、ふえ方(秋～冬は泥面で生育、胞子・出芽・分割でふえる)などの研究
	光による水草の成長(Ⅲ)	佐世保市立 早岐中学	3年 浦本美奈子	ウキクサが材料、セロファン紙を使って光の色による成長のちがいの研究
	アッケシソウの観察	鳴門市立 鳴門中学	1・2・3年 西上 昭二 ほか10名	鳴門市の高島塩田公園には以前アッケシソウの群落があったが絶滅した。種子をまいたところ生育に成功。成長と環境についての研究。種子の標本あり。
	モウセンゴケの消化液の研究	高知県中村市 中村中学	3年 溝口 智則 ほか4名	クモで実験、消化液はリトマス反応で酸性を示す。
高 校 の 部	ウキクサの研究	長野県立 伊那北高校	征矢 滋子	小学校5年以来7年間の研究。外部と内部形態、ふえ方、ふえ方と水温・日光、越冬のしかた、無機養分・pHとふえ方、ウキクサの浮き方の研究など多彩。
	栗駒山における湿原の植生	岩手県立 一関第一高校	1・2年 志和 佳代 ほか5名	コドラート法を使っての湿原9ヶ所の調査、ヌマハリイ群落、ヤマタヌキ群落、イワシヨウブ群落、低層湿原・雪田植生・硫気孔植生に区分